

平成25年度

事務事業評価表 A (平成24年度の実績評価)

記入年月日
平成 25 年 4 月 1 日

Table with columns for project name, classification, budget, and administrative details. Includes '事務事業名', '区分', '事務事業No.', '課内No.', '政策体系', '予算科目', and '法令根拠'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table for (1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標. Contains sub-sections for ① 概要, ② 担当業務, ③ 対象, ④ 意図, ⑤ 結果, ⑥ 活動指標, ⑦ 対象指標, ⑧ 成果指標, ⑨ 上位成果指標.

(2) 指標値の推移

Table showing the trend of indicator values from 22nd to 28th fiscal years. Columns include '区分', '単位', and years with '実績' (actual) or '計画/目標' (plan/target).

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing the trend of input volume (project costs) from 22nd to 28th fiscal years. Includes sub-sections for '事業費の内訳' (breakdown of costs) and '事業費の内訳' (breakdown of costs).

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content of the current fiscal year, with columns for 25th, 26th, 27th, and 28th fiscal years. Includes a note about recording content by category.

事務事業名	自転車用ヘルメット購入補助事業	事務事業No.	30112779	所属課	学校教育課
-------	-----------------	---------	----------	-----	-------

[Do] 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 岩瀬地区の小中学校においては、以前より自転車運転時のヘルメット着用が義務づけられていたが、大和・真壁地区の小中学校では義務づけられていなかった。
 平成24年度に自転車運転中の事故が相次いだこともあり、平成24年7月からは市内全ての中学校においては自転車運転時のヘルメット着用を義務づけた。また平成25年度からは小学校においてもヘルメット着用を義務づけ、児童生徒の安全確保に努めている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 補助を行うことで保護者負担を軽減し、ヘルメット着用の推進による更なる児童の安全確保が求められている。

[See] 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている この事業を行うことで、児童生徒の安心安全な教育環境づくりに結び付く。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童生徒の安全確保は市の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 各小学校での自転車運転許可の時期に合わせてヘルメット購入を行っており、また平成25年度には市内全小学校にも事業を拡大した。全小・中学校でヘルメット着用が行われることを考えると、対象・意図は妥当である。
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 平成24年度に全中学校、平成25年度には全小学校でヘルメット着用という形で成果を拡大させており、これ以上の成果の向上余地は無い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ヘルメット購入に対する保護者負担が増加し、児童生徒の安全確保に影響が出ることが考えられる
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 学校教育課での一括購入など事業費を削減する努力を行っており、これ以上の削減余地は無い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最低限度の業務時間で行っており、削減余地は無い。
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 対象児童全てに対して購入希望の調査を行っているため、受益機会は公平である。

[Plan] 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(3)-1 改革改善策	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持			○		低下				
成果				コスト																				
		削減	維持	増加																				
向上																								
維持			○																					
低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

[Check] 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>